

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	日頃から地域住民と交流を図り、緊急時に近隣の協力が得られるよう、運営推進会議で話し合いを持つなど、今後の活動を期待する。	緊急時の安全確保の為に避難訓練の継続と、地域住民からの協力体制の確立に努める。	地域の防災訓練や会議に参加したり、運営推進会議などを活用し、地域の方々にも施設の避難訓練に参加して頂くなどする事で、地域の避難場所や経路の確認、緊急時には協力頂ける関係の構築に努める。	12ヶ月
2	6	常時必要なのか、ほかに安全を確保する方法はないかを検討、工夫して、より一層身体拘束の無いケアに取り組むことが望まれる。	身体拘束に対する正しい理解を持ち、拘束しないケアに取り組む。	玄関やエレベーターの施錠は時間帯を検討する。社内外の研修や、委員会での事例検討など「拘束しないケア」を職員全員で考え、取り組んでいく。	12ヶ月
3	4	地域住民が加わりやすい内容を企画し、地域に高齢者ケアの拠点としての役割りを浸透させ、交流の輪を広げられることを期待する。	地域の一員としての役割りを担い、高齢者ケアの拠点となるべく活動する。	地域の方々との日々の挨拶などで馴染みの関係の構築に努め、開催内容や曜日・時間の工夫をする事で、会議に参加しやすい環境を考え、実践する。認知症の勉強会なども開催したいと考えます。	12ヶ月
4	52	テレビやソファの配置、手に取れる雑誌や生活感のある雑貨など、共用空間の中で利用者が思い思いに過ごせる場の工夫を期待したい。食事中のテレビについても検討が望まれる。	入居者それぞれの生活ペース合った共用空間の提供に努める。	共用スペースが広いことから、読書コーナーを確保したり、個々の生活歴に添った馴染みのある雑貨置いたりし、自宅の居間と同様に過せる場を提供する。	12ヶ月
5	54	思い出の品や趣味のもので飾るなど、その人らしくしつらえ、より心豊かに過せる空間となることを期待する。	自宅の延長線上として、心地良く休息できる場を提供する。	趣味の物や家族写真などを配置したり、より自宅に近い環境の工夫などで、自分の部屋として寛げる空間を入居者と職員で一緒に作って行く。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
6	10	家族との関係を密にとり、職員の退職や移動時も何らかの方法で家族に周知することが望まれる。	入居者や家族とのコミュニケーションを密に図り、より一層開かれた環境の提供に努める。	入居者・家族との何気ない日常会話の中にも、真意を汲み取るように心掛けて運営に反映できるよう努める。又、職員の入退職や異動などを、月初の家族様宛お便りでお知らせするようにする。	12ヶ月
					ヶ月
					ヶ月
					ヶ月
					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。